

「第33回宮前区民祭」でPR

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 上野3陸尉）は、10月26日（日）、川崎市宮前区役所周辺で行われた「第33回宮前区民祭」に、募集相談員や市議会議員の方々の支援を頂いて広報ブースを出展し、自衛隊の活動をPRした。

イベントには、約3万8千人もの来場者で賑わいをみせていた。自衛隊のブースにも多くの市民の方々が訪れ、災害派遣活動の写真パネルや非常用糧食に興味を示していた。また、子供迷彩服の試着コーナーでは、大勢の子供達が迷彩服に身を包み、初めての体験に嬉しそうな表情を浮かべていた。会場を訪れた方々からは、「これからも頑張ってください」という激励の声が多数聞かれた。

溝の口募集案内所は、「今後も、地域のイベントに積極的に参加して、自衛隊の活動をPRしていきたい」としている。



迷彩服を試着

幹部候補生採用予定者の部隊研修を支援

神奈川地方協力本部（本部長高田 充 1海佐）は、10月27日（月）から29日（水）の間、幹部候補生採用予定者31名の海上自衛隊部隊研修を支援した。

研修初日は、第31航空群（岩国基地）を研修し、2日目は、潜水艦教育訓練部隊（呉基地）を研修した後、幹部候補生学校（江田島市）を訪れ、赤いレンガ調の建物や石造りの資料館、教育の様子及び大きな声を上げながらの行進を見学した。

最終日は、呉市にある第4護衛隊群で「護衛艦いせ」を見学し、今回の研修を終えた。参加者は、航空部隊、潜水艦部隊、護衛艦部隊、また、約1年間の生活を行う幹部候補生学校を研修し、「早く入校したい」と意欲をのぞかせていた。

神奈川地方協力本部は、「本研修により、採用予定者の入隊意欲を高めることができた」としている。

「総合的な学習の時間」を支援

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、10月29日（水）、海上自衛隊厚木基地において、小田原市立酒匂（さかわ）中学校の2年生6名が参加した「総合的な学習の時間」を支援した。

始めに、資料館において4空群司令との記念撮影、続いて厚木基地の概要説明や管制塔の見学が行われた。P-3Cの見学では、コックピットの操縦席に座ることもでき、「貴重な体験ができて、とても有意義でした」という生徒の声が聞かれた。

小田原地域事務所は、「今後も、「総合的な学習の時間」を積極的に支援し、湘地区から自衛官を志願する生徒が多く現れるよう努めていきたい」としている。



資料館の見学